

【今期決算】

項目	第N期経営計画 (千円)	第N期決算額 (千円)	決算額 / 計画
経常利益	3,600	7,000	194.4%
営業外費用	500	500	100.0%
営業外収益	300	300	100.0%
営業利益	3,800	7,200	189.5%
減価償却費	1,000	1,000	100.0%
広告宣伝費	600	700	116.7%
一般管理費	26,000	26,500	101.9%
人件費	25,500	26,000	73.2%
役員報酬	10,000	10,000	
(販売・一般管理費の計)	63,100	64,200	101.7%
粗利益額	66,900	71,400	106.7%
工事原価	200,700	183,600	91.5%
売上高	267,600	255,500	95.5%

(1) 期首の経営計画書の数値を入力します。

(2) 決算書の数値を入力します。計画との達成率が自動表示されます。

【試算A】

項目	第N+1期経営計画 (千円)	算定計算の説明	説明
経常利益	20,000	① 社長が決定する	
営業外費用	912	② 借入額×金利	支払利息
営業外収益	912	③ (定期預金×金利)+雑収入等	営業外土0の設定
営業利益	20,000	④ ①+②-③	自動計算
減価償却費	8,000	⑤ 有形固定資産×15%	原価の決算書参照
広告宣伝費	15,000	⑥ 社長が決定する	原価の決算書参照
研修参加費	1,000	⑧ 社長が決定する	原価の決算書参照
交際接待費	6,000	⑨ 社長が決定する	原価の決算書参照
その他一般管理費	60,000	⑩ 社長が決定する	原価の決算書参照
人件費(給料+賞与+社保負担額)	73,000	⑪ 前年実績+新規採用者(2名)×500万	人員計画
役員報酬	33,000	⑫ 2名現状額	
(販売・一般管理費の計)	196,000	⑬ ⑤~⑫の合計	自動計算
売上総利益(粗利益)	216,000	⑭ ④+⑤+⑬	自動計算
粗利率	29%	⑮ 社長が決定する	%入力
売上高	744,828	⑯ ⑭÷粗利率(29%)	自動計算

上から順に入力します

(3) 経営計画書をシミュレーションします。①経常利益から、番号順に数値を入力します。④⑬⑯の項目は自動計算されます。最後に⑯粗利率を入力すれば、⑯売上が自動決定します。

【試算B】

項目	第N+1期経営計画 (千円)	算定計算の説明	説明
経常利益	20,000	① 社長が決定する	
営業外費用	912	② 借入額×金利	
営業外収益	912	③ (定期預金×金利)+雑収入等	
営業利益	20,000	④ ①+②-③	自動計算
減価償却費	8,000	⑤ 有形固定資産×15%	
広告宣伝費	16,000	⑥ 社長が決定する	
研修参加費	1,000	⑧ 社長が決定する	
交際接待費	5,000	⑨ 社長が決定する	
その他一般管理費	60,000	⑩ 社長が決定する	
人件費	63,000	⑪ 前年実績+新規採用者ゼロ	
役員報酬	30,000	⑫ 2名減額	
(販売・一般管理費の計)	183,000	⑬ ⑤~⑫の合計	自動計算
売上総利益(粗利益)	203,000	⑭ ④+⑤+⑬	自動計算
粗利率	32%	⑮ 社長が決定する	%入力
売上高	634,375	⑯ ⑭÷粗利率(32%)	自動計算

上から順に入力します

(4) 広告宣伝費や人員計画など、戦略的なシミュレーションを行いましょう。

最後に会計事務所と相談しながら最終決定まで進んでください。

(5) 新規採用を控え、役員報酬も10%カット、粗利率を改善すれば、売上が1億円下がっても、経常利益は変わらないことがわかりました。経営者様に最後の判断をいただければ幸いです。